



望郷ラインを疾走する参加者

望郷ライン・センチユリーライドを開催

群馬県と利根沼田5市町村などで行く実行委員会が主催し、利根沼田地域の美しい風景を楽しみながら望郷ラインを自転車で駆け抜けるイベント「望郷ライン・センチユリーライド2017」が8月27日、村総合運動公園を発着点に開催



早おき村で休憩をとる戸丸さん

されました。

当日は県内外から986人が参加。コースは、みなかみ町までを往復するロングライド(110km)、川場村までを往復するミドル(78km)、沼田市利根町までを往復するショート(40km)、村内の早おき村までを往復するエンジョイ(18km)の4コースで行われました。

第1回からシテイサイクル(いわゆるママチャリ)で毎年参加している戸丸大地さんは「過酷なコースだが、一般的な自転車でも走れることを証明したくて参加しています」と笑顔で語りました。

赤城西麓土地改良区が園児を招待

赤城西麓土地改良区では、8月2日から9日にかけて、第一・第二・子育保育園の園児たちを沼田市利根町にある同改良区調整池となりにある親水公園に招待しました。

これは村の農業を支える同改良区の農業用水に対して、子どもたちにも親しみをもってもらおうと平成15年から実施しているもの。

今年は特別に、工事のため減多に見られない水位の少ない調整池を見学した後、園児たちは元気に水遊びを楽しみました。また、同改良区の職員から焼きトウモロ



いただきます(第二保育園)

コシやトマトなどが振る舞われ、子どもたちは大喜び。園児たちは親水公園での楽しいひとときを過ごしました。



園児たちは楽しく水遊び(子育保育園)

トレイルランで

赤城高原を疾走

赤城林間学園周辺の林道をメインコースに8月20日、第2回赤城の森トレイルラン」が開催されました。このトレイルラン(トレイルランニング)とは、登山道など自然の中を軽装備で走る大会で、当日は15キロの部、30キロの部を合わせておよそ600名が参加。来賓として出席した堤村長は、「赤城の自然を存分に味わって楽しんでください」と歓迎の挨拶。ランナーは涼しい高原を駆け抜けました。



勢いよくスタートする参加者



パワフルなバッティングが目立った45歳以上の部



若さあふれる30歳以上の部

壮年ソフトボール大会で熱戦

村体育協会主催の第41回壮年ソフトボール大会が9月3日、総合運動公園多目的グラウンドなど4つの会場で行われ

ました。

中高年層の親睦交流と健康・体力づくりを目的として、地区別に30歳以上の部19チーム、45歳以上の部9チームの合計28チームが参加。絶好のソフトボール日和となった晴天の下、熱戦が繰り広げられました。

大会の主な結果は次のとおりです。

〔30歳以上の部〕優勝…中宿・中内出・常木A、準優勝…宿、第三位…吹張、田岸・大堀

〔45歳以上の部〕優勝…川額、準優勝…鎌沢・上組・中組、第三位…長者久保・大河原、田岸・大堀

役場庁舎耐震化検討委員会がスタート

第1回庁舎耐震化検討委員会が8月29日、役場会議室で開催されました。

この日は、前橋工科大学の北野敦則准教授をはじめ学識経験者や各種団体の代表者20名を検討委員会の委員に委嘱。小林副村長を委員長に、北野准教授を副委員長に選出しました。

役場本庁舎の耐震診断結果の報告によると、庁舎は昭和45年に建築され、47年が経過しています。平成23年に耐震診断（2次診断）を行ったところ、「耐震性能は非常に低く、大規模な改修が必要」という結果が出されていました。

検討委員会では今後、長期的視点に立った役場庁舎の在り方について総合的に調査・

検討を行い、平成30年3月末日までに整備方針等方向性を村長に答申する予定です。



堤村長から委嘱状を交付



学識経験者や各種団体の代表者が集まった検討委員会

長寿祝い

林みぶさんに慶祝状

林みぶさん（滝久保）が8月25日、100歳の誕生日を迎えられたことを祝い、自宅を訪問した堤村長から「これからもお体に気をつけて、お元気でいてください」と慶祝状が手渡されました。

林さんは大正6年8月25日生まれで、生まれも育ちも昭和村。7人の子どもを育て上げ、孫は16人、そしてひ孫もすでに10人を数える林さんは、「怒ったり、威張ったりせず、そしてよく食べることです」と元気の秘けつを話していました。



100歳の誕生日を迎えられた林みぶさん